

東日本大震災記録集追録

仙台赤十字病院

■周辺情報

遠藤尚部長

- ・石巻周辺は壊滅的で、石巻赤十字病院のみが稼働している。
ヘリポート機能があるので、取り残された人が、患者・避難民合わせて運ばれてる。
建物の内外に毛布にくるまり寝ている人が約1,000人寝たきりで、アクティビティの低い人が多く含まれている。
石巻市立病院にも250人が取り残され、順次脱出を行った。当院でも、昨日金華山から霞目飛行場に避難した方17名の受入を行った。
- ・市内では、厚生年金病院が医療を行えないため、呼吸器患者・循環器患者を他の病院に移動している。
仙台市立病院・大学等余力のある病院に振り分けているが、市立病院・大学病院・医療センターに集中して、当院の引き受けは、まだ数が少ない。
当院でも、シフトを組んで、昨日の明け方から患者受け入れができるようになった。
今後については、石巻にいた「赤タグ」の人は県外に運ばれている。当院では、周辺地域の人に損傷がないため、患者さんも少なく、市立病院・厚生年金病院のあふれている患者さんを引き受けられるようになる。

■救急対応

塚本医師

内科・外科・整形外科で夜間リーダーを組んでいただいている。
アポなしで救急車が直接来院するようになっているので、受入については、各診療科の先生の協力が必要になっている。
内科疾患の急患が増えてきたので、昨日も内科の先生にはいろいろお願いした。リーダーひとりで内科を行うのは難しい状況。
メディカルケアではなく、社会的にケアを必要な患者さんの受入がこれから増えて行くと思われる。
消防局に、当院の現状が伝わっていなかったが、積極的に受入をおこなっていくことになる。
在宅酸素の患者さんの受入は可能としている。

主に3階と7階で行っているが、各部署に確認の上、お願いしてほしい。

また、患者さんは、車イスに座っているが、身の回りのことは自分で行っていただくことになる。

本日から、救急外来で救急車を対応する。

トリアージをする医師を設けた方がいいのか（遠藤尚部長より、医師がトリアージを行い、各科へ回すように）

また、本日より、トリアージタグの使用は中止する。

放射線科

CT・MRIは使用可能。

検査

基本的にカルシウム以外の全検査が可能。

細菌培養については、外注先が壊滅的な状態のためいつ出来るかわからない。細菌培養以外の検査は可能。

エコー・超音波などは可能。

輸血は、大きな手術でも可能。早めにオーダーして欲しい。

災害時のため、それを踏まえた上でのオーダーをお願いしたい。

栄養課

患者さんには、非常用の食料を配膳していた。

昨夜から暖かい汁物等の提供を行っている。

蒸気が使えるようになったので、メニューの幅が広がった。

ガスがまだ復旧しないため、お米が炊けない。パンや麺が主食としてのメニューになる。

事務部

職員の給食については、名古屋・大阪からの赤十字病院等からの救援物資があった石巻赤十字病院にも回している。

市の給食センターからも微量ではあるが届いた。千葉の給食センターから2000食準備の話があったが、ガソリンの問題があり交渉中。

カップラーメンは、かなりの数があるが、物資が止まったときの備蓄としておきたい。

手術室

配管・吸引は使用可能。

手洗いの水は止まっているが、時間を決めて出すことが出来る。手洗いは可能。

空調がまだのため、ないで手術を行うことになる(体感的には寒い、ウォーマーを使う等の処置が必要) 滅菌については、供給が心配である。

定期手術・予定手術は無期延期となる。

手術は1列ではなく並列で可能である。(日勤者がそろっているため)

ME室

医療ガスは供給されているので、4月上旬まで持つ。

液化窒素については、今朝入り、3月23日頃までもつ見通し。

酸素ボンベについては、供給がなくなるので、難しくなる。移動用に使うのは足りない。

薬事部

ひかり薬局とクローバー薬局が、在庫がある分については可能。

院外処方30日のものでも、ひかり薬局では7日分のみ処方している。

医療社会

通信が不通になっているので、介護タクシーへ連絡ができない。

タクシーもガソリンの問題があり、社会的にケアが必要な方への対処方法を行政と相談しながら何か確保しなければならない。

看護部

救急外来の体制は師長にサブをつけている。

看護師を4人体制にしている。

施設

電気→昨日から復旧

水 →水道管が壊れているので、修理をしてから復旧になる。

ガス→3週間から1ヵ月くらいかかる。

現在、トイレは防災センター前と売店前のみ利用できるが、雑用水を利用することで、共用のトイレの

利用は可能となる(流すだけで、洗面台の水は出ない)

手洗いの場所としては、汚物処理室、トイレの掃除用の水道は使用可能。

水は、180トンの容量の貯水ができるようにしているが、2トン車で1日5・6回ほどしか供給がないので、いっぱいにするのは無理な状況。(現在は110トン約6割程ある)

仙台市には夜中でも対応していただけるようにしているが、今までの使い方を維持し、半分以上は貯めておきたい。

節水をお願いしたい。

菅野副院長

食料支援が来ない場合は？

事務部

今は、支援が入って来ないことを予想していない。量や回数を工夫するとともに、県・市・独自のルートで確保できるように交渉する。

滅菌

以下事務部から

滅菌を委託している場所である大郷町が壊滅状態のため、できない。

中材に滅菌があるがスチームを利用している。

オートクレーブに、スチームを使えるようにする。

スチームは栄養課のスチームの時間にあわせて動かす。

重油ボイラーを利用できるようにする。

本社を通じて長野の滅菌メーカーから1台、搬送される予定。

ディスポが可能なところで行うしかない。

・谷川原部長

市内の病院の滅菌状況は？共用しないのか。

・北副院長

他の病院の状況を確認し、または市内でオートクレーブを持っているが使用していない開業医さんのおれば借りたい。情報があったら頂きたい。

リネン

同じく委託している場所である大郷町が壊滅状態のため、できない。

SPD

業者の在庫にある分は可能ですが、それがすぐに入るというわけではない。
建物の修復 会議室等を行って行く予定。

明日給料日となっているが、七十七・郵貯銀行については、支給可能。(その他については確認中)
職員で、自宅が壊滅状態で帰れない人については、看護寮にあきがあるので、人事課へ連絡。
1つのことを決定するのに時間がかかることをご理解ください。

後藤副部長

近所の人や患者さんが水を汲みに来ている。もっと節水を呼びかけるようにするといいい。

石井部長

自家用車のガソリンがなくなったときにどのように対応したらよいか。

事務部

職員が集めにいったが、今現在ガソリンが0に近い状況。動きの取れない職員は院内に泊まっている。
県にも交渉したが、医療機関でも特別に支給はしないとのこと。

大沼副部長

ガソリン待ちでならんでいる人のために、救急車が通れず、搬送が遅れている状況。

事務部

警察に連絡し、対応をお願いしている。

遠藤尚部長

ガソリン待ちの渋滞については、抜け道を地図で配布する。

小林副部長

亡くなられた方について、昨日は業者の方が引き取ってくれたが今後はどうするのか。

事務部

場所を作って対応する。

北副院長

明日も朝(※下記参照)にミーティングを行う。
全館放送は、患者さんに必要のない情報を与えるため混乱するので、さける。
紙ベースで、発表時間を入れて配布予定。

中川副院長

毎日17時、化学療法室でミーティングを行う。

診療打ち合わせ会

時 間：毎朝8時35分

場 所：2階 会議室1・2

参加者：医師(副院長 各科代表 災害対策委員会委員)・事務部(各課)・看護部・薬剤部・医療社会事業部・放射線技術課・手術室・ME室・リハビリテーション課・腎センター・周産期センター

(出席希望あればお知らせください)

■院内の状況**北副院長**

3月15日（17:00～8:30）救急外来患者数37名（内入院患者11名）
今後は、夜間に多数の患者さんが運ばれてくることは少なくなると思われる。
内科・小児科・産科が主体のようだ。

谷川原部長

市内の開業の先生はお産を扱えないので（T'sレディース・吉田レディース等）当院に患者さんが流れてきている状態。今後、お産の数がどこまで増えるかわからない。
他の病棟（5階B病棟）に患者さんを入院させる必要も出てくる。

薬剤部

原則院外処方。医師会では、調剤日数は7日分を勧めているが、当院では、30日まで処方している。患者と調剤薬局で相談して決めていただけるように頼んでいる。
当院に対応している薬局は、ひかり薬局とクローバー薬局。ひかり薬局は7日分の処方しかしていない。クローバー薬局は30日分まで出せるとのこと。
院外処方のFAXは、今週いっぱい使用不可。
薬がなくなると、ジェネリック薬や同効の薬への変更の確認の連絡があると思う。

山下部長

特定疾患の方は、薬局も指定されているが、その場合はどうなるのか。

薬剤部

連絡が取れない状況なので、他の調剤薬局がどのような状況になっているのかわからない。

北副院長

公的な機関に確認してください。

検 査

カルシウム以外は検査可能。

放射線科

当直が一人体制なので、撮影が必要な患者さんが多いときには、早めに連絡をお願いしたい。

看護部

救急体制で人員を用意しているが、昨夜はサブ師長の必要がないほどだった。
今週は人員が足りないということはないので、同じ体制で行く。

事務部

リネン類は、1ヶ月以上大郷町センターリネンが供給不可能なため、山形から輸送を頼んでいるが、ガソリン不足でスムーズには運べない現状。今までと同じようにはいかない。
重油ボイラーが使えるようになったので、栄養課・手術室のオートクレーブでスチームが使えるようになった。
聖マリアンナ医科大学から小型の滅菌機が3台届いた。
自動販売機については、17日（木）に業者が回るとのことだが、十分な補給はできないため、売り切れの状態が続くかもしれない。
SPDについて地下の倉庫にある分で当院に納品できる分は補給可能。腎センター・NICUについては、今までどおり。その他は臨時伝票でのみ対応する。
手術室にも補充して欲しいと依頼があったので、確認のうえまた連絡する。
職員の食料については、昨日は賞味期限間近の食料が来たので配布することができたが、今日の分については全く見通しが立っていない。調達できればまた連絡もしくは直接配布します。

永野部長

日経新聞に、小児科の患者さんが診てもらえなかったという記事が載っていたが、小児科としては、断ってはいない。
現在、災害医療についての掲示が貼られているが、掲示の仕方に問題があるのではないかな。もう1枚、急患の方は対応しているというものを貼るようにし

た方がいいのではないかな。

中川副院長

災害医療に特化しているが、来た患者さんはすべて診る形で断ることなく受け入れて欲しい。
小児科は当直・麻酔科は当番となっている。
夜間に入院した場合は、朝までは当直医が主治医となり、翌日（休日の場合は翌平日）に内科は菅野副院長、外科は中川副院長が主治医を決定する。

菊池師長

直接来院された方については、全部受けている。
もしかしたら、新聞社の方でも誤解をしている可能性があるかもしれない。

三木部長

昨日インフルエンザの患者さんが来た。
インフルエンザが再流行の危険がある。インフルエンザ疑いの方には検査を行い、職員はマスクをするように。
インフルエンザの検査キットの数はどれくらいかな？

検 査

800人分ほど

三木部長

補充をお願いしたい。

菅野副院長

インフルエンザに関しての対策について、緊急院内感染対策委員会を開き、その方針を伝えていただきたい。

三木部長

夜間、入院患者等が亡くなったときに、死亡診断書を書くために主治医等が病院に来るには、現在のガソリンがなく連絡も取りにくい状況では難しいため、死亡診断書は当直医が記載するようにすることはできないか。 → このようにする。

診療打ち合わせ会

時 間：毎朝8時35分

場 所：2階 会議室1・2

参加者：医師（副院長 各科代表 災害対策委員会委員）・事務部（各課）・看護部・薬剤部・医療社会事業部・放射線技術課・手術室・ME室・リハビリテーション課・腎センター・周産期センター

（出席希望あればお知らせください）

■放射線漏れの対応について

岡田放射線科部長

中川副院長

非常体制は、本日より内科1名、外科1名、研修医1名となる。

バックアップその他については待機で、今後も続けていただく。

救急患者は断らずに受入をお願いする。

救急入院患者さんについては翌日外科系については中川副院長が、内科系については菅野副院長が当直医以外の医師を主治医に選ぶ。

当直医は、入院患者さんにも対応する（主治医の来院が困難なため）診療上何か問題が生じた場合には当番副院長に相談する。

菅野副院長

精神科の患者さんが肉体的症状で来院した場合には診察を行う。

精神症状のときには各医師の判断で、他施設に送っても良いと思う。

院長

街中も落ち着いてきたが、来週水曜日まではこの非常体制を行う。

原発については、核分裂を起こしていないので、チェルノブイリのように一気に爆発する可能性は少ない。まずは安心して良いと思う。後で通知もします。石巻は厳しい状況とのこと。救護所に入る方も多い。本日石巻に行って、何か相談できることがあればと思っている。

食事については、職員の分については用意できると思う。

患者さんには足りないかもしれないが、準備することができている。

中川副院長

研修医は配属部署に関係なく協力をお願いしたい。

職員も所属部署に関係なく、協力いただきたい。

事務部

ライフライン → 断水状態が続いている。
水道は、茂庭と七ヶ宿の2系統から来ている。茂庭の方は回復したが、七ヶ宿は途中の白石川のパイプが陥落しており、それが直るまで約1ヵ月かかる予定。

給水 → 180トンまでためることができる。現在120トン確保している。今朝からは20トンのタンクローリーにて給水を行った。

検査課から、水道水が出ないと検査に影響が出ることので、使えるようにした。系統の関係で、眼科・産婦人科・健診センター・作業療法室等の水道からも水が出るようになるが、検査課以外の部署は、水道から水が出ても絶対に使用しないで欲しい。

検査

水がないと仕事ができない。水が出るようになったので、まもなくカルシウム検査が行えるようになる。水がない・検査の物品がないなどは続くので、後回しにできる検査は次回にまわして欲しい。

医療情報管理課

ガソリンがない等で、薬が取りに来れない患者さんについては、患者本人が直接調剤薬局に行き、お薬手帳等で薬の処方内容がわかれば処方可となっている。そのため、調剤薬局から問い合わせの電話が来るかもしれない。

処方については、後日病院に来た際に処方箋を受け取っていただき、調剤薬局に提出する。

看護部

特になし。

病棟から

重症患者さんの付添いで泊まっている方への食事について。

普段であれば、付添い食は出ないが、今回、実際にはスタッフが持ってきた食べ物を分けたりしている。

今後、どのような対応をすればよいのか。

→ 協議する。必要な人数がどのくらいか看護部で調べて欲しい。

三木部長

インフルエンザは積極的に検査をして欲しい。

インフルエンザキットは1, 000キットある。

もし、インフルエンザの患者さんが出た場合には、8Aに隔離する。

今後、ノロウィルスが増えてくると思われるので、それも検査して欲しい。

どちらも、後から陽性になった場合には、中村師長に連絡をして欲しい。

手術室

手術はできるが、作業衣が不足しているので、自分で使った分は、よほど汚れていない限り続けて使用して欲しい。

手術は不潔にならないように行う。

診療打ち合わせ会

時 間：毎朝8時35分

場 所：2階 会議室1・2

参加者：医師（副院長 各科代表 災害対策委員会委員）・事務部（各課）・看護部・薬剤部・医療社会事業部・放射線技術課・手術室・ME室・リハビリテーション課・腎センター・周産期センター

（出席希望あればお知らせください）

第4回 診療打ち合わせ会報告

平成23年3月18日（金） 8:35~9:00

中川副院長

23日（水）まで当直を作った。内科・外科・研修医の3人体制。

副院長・外科・小児科・整形外科は待機1名。

診療に対する問題があれば、内科・外科系の副院長に連絡。

自己管理には十分注意するように。

北副院長

自己管理は十分注意するように。

事務部

昨日20トンの給水車で、47トンの水給水。なかなか効果的に給水ができず、現在貯蔵タンクの3分の1しかない。いつも半分以上は残しておきたいため、1階のトイレの手洗いの水が出ている部分も、今後止めていく。1つ1つ点検をしていくが、もし出ても診療以外に水を使わないようにして欲しい。水が本当に不足している。雪で給水車が来れない可能性もあるので、節水を。

患者さんには2Lのペットボトルを配布する。昨日放射線の業者から届いた18Lポリタンク×8コくらいがあるので、病棟で使用できる。飲料水につ

いては、今日から明日にかけて10トン車で運ぶ予定ではある。患者さんには、水の不足が解消されるまで2Lペットボトルの水で我慢してもらう。水の不足については栄養課で野菜を4回洗っている。平時は必要なことだが、節水が必要なため洗わなくても良いものはそのままや、最低限で済ますように節約する。

ガソリンについては、昨日約210L購入したが、118L使ったので、残り約100Lしかない。本日も大河原から購入する予定。医師で空ランプのついた方から連絡をお願いしたい。→ 各部署の必要な職員に給油した（済）

食事については、山形からおにぎり1,000個。福井からも届いている。

谷川原部長

自動販売機の飲み物を大量に買っている部外者（と思われる人）もいる。

後藤副部長

売店にも部外者（と思われる人）が並んでいる。外部の人たちに買うなど規制をすることはできない

ので、ひとり1本のご協力をお願いします等の掲示をする分にはいいのではないかと。

→ 対応：自動販売機に張り紙をする。

■被曝で来院した人について

受付で確認ができた場合は、大学病院へ。
当初は医療センターだったが、医療センターで水が使えないので、大学病院になった。大学病院では、被曝に関する専用の受付があるので、そこで診てもらえる。

看護部

ガソリン不足等で大学病院へ向かうことができない人についてはどうするのか。

→ それは本人の責任であって、こちらでは受付はできないので大学病院へと案内をする。

院長

今の段階では被曝を過剰に意識する必要はない。神経質な人に対応しきれない。説明しても理解ができない人もいるから、権威あるところ（大学）で検査をしてもらったほうが良い。
福島県内の人でも診療を行う。
来院したら上着をビニール袋に入れる等の対応をしてもらう。今後、わかったことはお知らせします。

菅野副院長

被曝した人を診療する時はマスク着用するように。

院長

救急外来で外傷処置を行うことと同じように手袋もするように。

＜まとめ＞

福島第一原発から30km以内の患者さんへの対応

- ・診療を希望されて来院された患者さんには通常の対応を行う。
- その際は、上着をビニール袋に入れ、診察時はマスク・手袋をする。
- ・被曝が心配な患者さんは大学病院の受診を勧める。

■増築棟について

増築棟は安全なのだということの再確認。
職員でも理解せず、増築棟は危ないのだと思っている人がいる。
つなぎ目については、今よりももう少し補強してもらう予定である。

院長

3連休で疲れを取って、そしてまた手伝って欲しい。
3連休当直の人はよろしくお願いします。

北副院長

職員のケガ、病気が増えているので気をつけてください。

診療打ち合わせ会

時 間：毎朝8時35分

場 所：2階 会議室1・2

参加者：医師（副院長 各科代表 災害対策委員会委員）・事務部（各課）・看護部・薬剤部・医療社会事業部・放射線技術課・手術室・ME室・リハビリテーション課・腎センター・周産期センター

（出席希望あればお知らせください）

中川副院長

震災11日目。三連休の間も順調だった。救急の問題はなかった。

日中は5～60件の問い合わせ、40人程度来院、入院4、5人。

夜間は30件ほどの問い合わせ、10人程度来院、入院2、3人と、通常に戻ってきている。

外来患者さんは減っているが、小児科・内科の患者さんが多い。

産婦人科は帝王切開を20件以上、整形外科も手術を5件以上行っている。

内科・小児科の疾患が多い。今月末までこの体制を続ける。

NHK等のテロップには、通常に近い診療を行っている旨をお知らせしている。

石戸谷副部長

通常診療ではない旨の案内が必要ではないか。(水が使えないと行えない処置を受けるためだけにきた患者さんもいる)

中川副院長

他の病院に比べれば、通常に近い診療ができている。何かが震災の影響で使えない等であれば、できない旨を説明すれば、わかってもらえる。

院 長

多くの患者さんを診察できたと思っている。市内では、まだ手術のできない病院もある。我々もガソリンがなく、患者さんもガソリンがない。近くの患者さんの診察を行って欲しい。

また、水がトラック2台分ある。ペットボトルは10万本あり患者さんに3本、職員に2本、外来患者さんに1本ずつ配布しても10日～20日は持つ。困っている施設等があれば、まわしたい。

お米もある、電気釜もあるので、職員の食料も準備できる。今月末まで水が通らず大変だが、よろしくお願いします。

テロップについては、あまり細かいことを流すことはできないので、いろいろな患者が来ると思う。

できるだけ断らずに診療して欲しい。

事務部

水については、貯水が9割になった。10万本のペットボトルもあるので、診療で必要な場合は利用して欲しい。また、職員のご家族の安否についてわかってない。各部署を通して、人事課に連絡をして欲しい。

山下部長

病棟に抗生物質を置いて欲しい。

薬剤部

検討します。

後藤副部長

水については確保出来ていることはわかったが、排水については何か対策を取る必要はないのか。他施設等では、紙は流さないでゴミにする等の対策を取っているところもあるが、当院はそのような対策の予定はあるのか。

事務部

何も考えずに流されると困るが、当院は一度タンクに貯めてオーバーした分が流れている。ただし、必要最小限の水を使用していただきたい。

岡山部長

タンクを準備していただければ、自宅で水道が使えるので水を持ってくるができるが、その必要はないか。

院 長

病院が切羽詰った状態になったらお願いすることもある。

今は、病棟の手洗い等の水についても、最低限の必要量はあり、見通しも付いている。

事務部

体拭き用の水と流しの水については、病棟のポリタンクの水を使っただけ。

遠藤公部長

患者さんの食事の内容の状況について
→現在確認中（確認：今週分は十分に食材あり）

放射線科・検査・薬剤部・看護部

特になし。

北副院長

かなり疲れていたときに、3日間の休みがあったので、疲れを取ることができたのではないかと。お互いに気遣いをして、これから阪神大震災の経験では精神的に疲れてくる頃なので、声をかけあっていきましょう。

院長

増築棟について、新棟との間の隙間を板で通れるようにした。中央を歩いてもらえば問題はないので、増築棟も使って欲しい。

診療打ち合わせ会

時 間：毎朝8時35分

場 所：2階 会議室1・2

参加者：医師（副院長 各科代表 災害対策委員会委員）・事務部（各課）・看護部・薬剤部・医療社会事業部・放射線技術課・手術室・ME室・リハビリテーション課・腎センター・周産期センター

（出席希望あればお知らせください）

第6回 診療打ち合わせ会報告

平成23年3月23日（水） 8:35～8:50

中川副院長

昨日は、24件の問い合わせがあり、14名来院、6名が入院となった。
通常の急患の人数に戻りつつある。
患者さんの疾患については、小児科・小児外科・内科が多く、肺炎や骨折等である。
肺炎の患者さんが多く、救急を要する患者さんが多い。
今月いっぱい、内科、外科、研修医各1名の3名の当直体制で診療を行う。外科、整形外科、小児科は待機とする。
ガソリンも今週末には供給できるとの話があるが、死亡診断書等については、当直の先生が対応して欲しい。急患は断らずに診察を行って欲しい。
この朝の連絡会議は少なくとも来週月曜日までは続けたい。
昨日の外来患者数は800人ほど。通常どおりに戻りつつある。
電気も使え、ガスも24日に復旧予定、水道も今月末には復旧する予定のため、予定手術等、通常の診療ができるので、よろしくお願いします。

三木部長

当直表は、今までどおりか。

中川副院長

内科はフレックスの医師に当直をしてもらっているが、31日までこのまま行いたい。

北副院長

大変なことはあるが、体力、気力に気をつけながらご協力いただきたい。

事務部

昨日、管理者の方には配布したが、今回の災害にかかる災害救護活動の時間外勤務の取り扱いについて通知しております。皆様、是非漏れのないように病院に届けてもらえるようにお願いします。
ライフラインの件については、水は本日7時の時点で9割（160トン）の水が入っている。この休み中に使用量が少なかったため、満水近くで保たれている。20ペットボトルの水を昨日から入院している患者さんに3本ずつ配布して飲んでいただいている。基本的に断水が解消される今月いっぱいまで行う予定。病棟の処置室には水道水の代わりとして18リットルのポリタンク2個を配布。こちらも今月いっぱい準備をする。スタッフの水については患者さん用とは別に配布する予定。
水について、不足等あれば、本郷さんに連絡する。
ガスは災害拠点病院から、随時回復、当院は24日

(木)に復旧する予定。

しかし、ガスには2系統あり、今回復旧されるのはボイラーや空調関係となる。それ以外の調理用については、一般の家庭と同じ扱いになるので、復旧の見通しはたっていない。

院外滅菌・リネンの工場について復旧し、昨日から正常どおりの稼働を行うとの連絡があったので、大きな何かがない限り、滅菌・リネンはこれまでどおりと同じに行える。

薬剤部

昨日山下部長から依頼のあった抗生物質の件は、病棟に確認して8Aと6Bに配布している。

事務部

オーダーリングに使用するコピー用紙についてご質問がありましたが、在庫がありますので、用紙が無くなった病棟は申し出ていただきたい。

院長

だいぶ地震関係の患者さんは少なくなったが、今後も救急の患者さんについては診療を行って欲しい。ガスも復旧の目処が立ち、水も供給できるので、診療には問題ない。水もしばれば復旧まで大丈夫です。病棟にはタンク2つですが、水を汲めるところを指定しますので、汲んで使う。必要最低限の量で使ってもらいたい。ペットボトルの水の他に、職員の皆様にはお茶もありますので、ひとり1本とはいかないかもしれませんが、空いたペットボトルで分けて飲む等で工夫してもらえればと思う。先はいつまでといわれると難しいが、今月一杯しのげばなんとかなると思う。

北副院長

このような事態のときに世間の役立っているから、水もガスがもらえるわけですから、頑張ってください。

検査

検査の外注分については、震災があった11日分について、ようやく昨日運ぶことができた。報告書については、昨日配布している分もあるが、これから徐々にでてくる。結果に関しては、震災前後については、参考値としてほしい。

看護部、医事、リハビリ等

特になし。

診療打ち合わせ会

時 間：毎朝8時35分

場 所：2階 会議室1・2

参加者：医師（副院長 各科代表 災害対策委員会委員）・事務部（各課）・看護部・薬剤部・医療社会事業部・放射線技術課・手術室・ME室・リハビリテーション課・腎センター・周産期センター

（出席希望あればお知らせください）

中川副院長

震災13日目。お疲れだと思いますが、診療は通常に戻りつつあります。

昨日は、問い合わせは11名、来院9名、入院3名。肺炎や腹痛、下痢、小児科の患者さんが多いが、震災前の救急外来の数に戻りつつある。

安否確認の電話が多く、昼間は救急センターで対応している。

医局に31日までの当直体制の担当を掲示している。31日までご協力願います。

明日、来週の月曜日まで朝の打ち合わせは行う予定。

院長

外来も多く患者さんが来ている。あと1日が終われば、また土日になるので、休むことができる。

給食については、冷凍食品（セット）で届けてもらう話があり進めている。もし出来れば、数食は今までと同じレベルのものを出すことができる。

水については、かなり入れてもらっているので、大丈夫。シャワーについては、昨日は4Bの患者さんに行った。

ガスも本日復旧するとのことで、ボイラーが1台しか稼働していない状態だが、今日ガスが確認できれば、いろいろな点でよくなっていくと思われる。副社長が、盛岡を出たという話がある。仙台に寄るかどうかは不明である。

何か、ご意見のある方がいればどうぞ。

三木部長

職員で、ガス・水がないためお風呂に入れない等がある。病院でシャワー等を使うことができないか。

院長

それも考えてはいるが、シャワーについては、1分間にポリタンク1つ分消費することになる。患者さんにも我慢してもらっている。職員については、患者さんの後になる。

谷川原部長

遠方から来ている職員は、公共交通機関を利用して、1、2時間かけて来ている職員もいる。ガソリンを

供給できるように、救急車輛のステッカーを多めに配布する等できないか。

院長

近くのガソリンスタンドでも、ガソリンがもらえなくなっている。看護宿舎にはまだ余裕があるので、帰れない職員には食事と泊まる場所を提供することができる、どうしてもというときは個別に相談してもらい対応したいと思っている。

北副院長

ガソリンについては、事務部長にもお願いをして、早い時期に県に相談したが、医療機関を優先しないとのことだった。

中里副部長

開業医の先生から聞いた話だと、医師会の方で、緊急災害搬送の書類があれば、初めの頃は入れてくれるガソリンスタンドがあったみたいだ。

事務部長

ガソリンを入れる基準については、統一されていないのが現状。現在、病院には90リッターのガソリンがある。救急車でもガソリンを入れてくれないところもある。どうしてもという方、通勤するのに不便が生じる方については、ガソリンをお配りしている状態。今日も市内を回って集める予定。

後藤副部長

透析の患者さんについて、透析患者さんであれば通院のためガソリンを優遇してもらえるステッカーが配布されるという話があるようだが、透析を行う医療スタッフについてもガソリンを優遇してもらえる話はないのか。

→ 今現在は、難しい。

事務局

石巻地区では、赤十字マークがついていればガソリンを入れることができた。

院長

当初入れてくれていたところも、底をついている。
あと数日辛抱して欲しい。

北副院長

病院関係者が優先的にガソリンをもらうと、病院が全開で患者さんを診なければいけないかもしれない。

薬剤部

来月月曜日から院外処方箋FAXコーナーが再開する。

検査

ほとんどの検査はできるが、ガスがないので、グラム染色等のガスを使う検査に時間がかかる。

事務部

貯水については、9割の水がある。昨日は60トンの給水があった。

5A、4Bとシャワーを患者さんに利用していただいているが、順番に拡大していきたいと思っている。職人については、ペットボトルの水を配布する。ボイラー・南棟の空調については、本日午前中に点検、問題がなければ午後からガスが復旧する予定。

診療打ち合わせ会

時 間：3月25日（金）・28日（月）8時35分

場 所：2階 会議室1・2

参加者：医師（副院長 各科代表 災害対策委員会委員）・事務部（各課）・看護部・薬剤部・医療社会事業部・放射線技術課・手術室・ME室・リハビリテーション課・腎センター・周産期センター

（出席希望あればお知らせください）

第8回 診療打ち合わせ会報告

平成23年3月25日（金） 8:35～8:50

中川副院長

震災14日目。外来も通常の戻りつつある。
昨日は問い合わせが11件、直接来院が5名、腎不全と産婦人科の患者さんが各1名入院。安否確認も少なくなっている。
当直に関しては、水もガスも使える状況のため、診療を行ってほしい。

院長

2週間、皆様のご協力でこの地区は落ち着いた。
石巻地区は厳しい状況。統制が取れていない状況。
石巻赤十字病院が、救護だけではなく福祉関係も引き受けざるを得なくなっている状況。
日赤の支部や本社からも幹部が来ているが、地元で、地理がわかるという意味でも後援をできればと思っている。人材の派遣を考えているが、救護班を1班派遣ではなく、司令部でお役に立てるようにしたい。
お疲れのところもあると思いますが、頑張ってください。休めるときには休むように。もう少し頑張ってください。

事務部

ライフラインについては、水は貯水が今朝7時の時点でほぼ100パーセントある。

昨日は、5Bの患者さんにシャワーを使っていた。今日は、6B、7階、8階病棟の患者さんにシャワーを提供する予定。

1万4千リットルの重油が提供された。ガス式ボイラーも本稼働している。

コンロのガスについては、今日から地区の点検が開始されるため、まもなく復旧するものと思われる。
本館と増築棟の補修工事を簡単に行った。

本間医師

6Aの子供たちのシャワーはいつになるのか。

事務部

6Aも本日より行きます。

院長

内科で長く入院している患者さんからシャワーを提供していた。

岡田部長

お昼の食事に野菜が少ない。福島等から購入するのはどうか。

事務部

野菜については、大阪から3トンの野菜が届いているが、職員ではなく患者さんの食事に利用したい。また、職員に提供している食事を日曜日の夕方までで、終了としたい。月曜日から「光洋」さんが職員食堂を再開していただけるとのことなので、前と同じ定食が提供されるかどうかは難しいが、よろしく願います。また、長期間もつカップめん等があるので、救急室や医局等、所々に置きたい。

院長

患者さんにも野菜の提供はしていない。理由としては、野菜は4回の水洗いをするため、水を多く使えない状況で野菜が使えない状況があった。ご理解いただきたい。

北副院長

医療センターで、給水タンクが壊れて整形外科の手術を他院へ依頼している。整形の手術は労災と当院しかできないといってよい状況になっているので、関係各所の協力をお願いしたい。

三木部長

院内感染について、インフルエンザはあまりないが、昨日ノロウィルスの患者さんが1名出ている。ノロウィルスについては、アルコールが効かないため、手洗いをしないとイケないが、手洗いができないため、該当する患者さんに対応するときのみ部屋にポリタンクを用意して手洗いをを行う等の対策を取っている。今回の患者さんは、嘔吐症状で入院し、後に下痢等を発症したため、疑われる人はチェックを行い、早期発見にご協力をお願いしたい。次亜塩素酸での器材と環境の消毒と手は石鹸で手洗いを行っていただきたい。

補足：入院患者で、陽性の患者が出た場合は、中村師長に連絡を

中川副院長

外来でもノロウィルスの患者さんが来ている。

北副院長

手袋をしての診療をお願いする。

金城医師

日曜日に沖縄の南部医療センターに戻ります。小児整形を学ぶために仙台赤十字病院に来ました。充実した1年を送ることができました。教わるからには教わるだけでなく、上の先生やスタッフにお返しをできたと思うので、今後もお役に立てるように頑張ります。

診療打ち合わせ会

時 間：3月28日（月）8時35分

場 所：2階 会議室1・2

参加者：医師（副院長 各科代表 災害対策委員会委員）・事務部（各課）・看護部・薬剤部・医療社会事業部・放射線技術課・手術室・ME室・リハビリテーション課・腎センター・周産期センター

（出席希望あればお知らせください）

中川副院長

震災17日目。

金曜日から今朝までの急患は、日中は問い合わせが約30件、来院約20名、夜間は問い合わせが約20件、来院10名弱。産婦人科は、金曜日から12名の入院がある、分娩が10件あった。その他の入院は8名、風邪や腸炎などである。

この打ち合わせ会は、本日で終了となる。

現在の当直体制は、31日まで続ける。ご協力をよろしくお願いしたい。

診療打ち合わせ会

時 間：3月28日（月）8時35分

場 所：2階 会議室1・2

参加者：医師（副院長 各科代表 災害対策委員会委員）・事務部（各課）・看護部・薬剤部・医療社会事業部・放射線技術課・手術室・ME室・リハビリテーション課・腎センター・周産期センター

（出席希望あればお知らせください）

院 長

水道については、八木山地区の家庭は使えるようになっているが、病院の水道については、八木山神社から増築棟下の配管損傷を一部直したが、タンクに水が溜まらず、その他の部分に損傷があるようである。そこを発見して修理するよりも、新しいバイパスを作る方が早いかもしれない。また、下水が漏れているため、増築棟のトイレは使用できない。今日から修理作業に入る。

診療については、個人で来る患者さんは少なくなっている。市立病院や医療センターが患者さんを制限しているので、その分で増えることもあるかもしれない。よろしくお願いします。

検査室

病理検査室の破損が大きく、スライド等が壊れているため、過去のデータを取り出すことが難しい。病理検査については、通常であれば、2、3日で結果が出るが、倍以上の時間がかかる。マニュアル化して対応していきたい。

北副院長

この会は本日で終了となる。